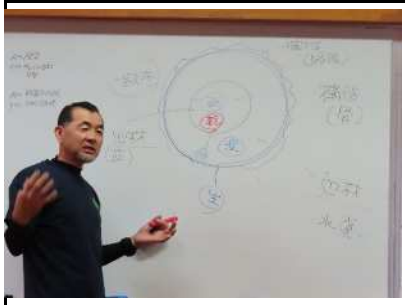
※講師及び開催日は変更することがあります。

研 修 名	かかり木処理・枯損木伐倒技術研修	B　4
お薦めポイント	森林整備等でかかり木処理をする・枯れ木を伐る方はぜひ受講を！ 樹木医でもある講師による枯れの判断基準や危険度を知ることや、安全なかかり木処理の方法は絶対に勉強になります。	
背景と目的	近年、かかり木処理や枯損木の伐採時における労働災害の増加しています。 かかり木処理と枯損木の伐倒には、健全木以上に対象を観察し、伐採計画を立てることが安全確保に繋がります。	
到達目標	発生することが多く重大な事故の原因となるかかり木や枯損木の安全な処理・伐倒方法を学ぶ。	
受講要件	①愛知県内で、森林・林業に携わっている者 ②研修期間中も労働災害保険の適用を受けている者 ③「伐木等の業務に係る特別教育」（労働安全衛生規則第36条第8号）修了者 ④伐木造材作業の従事経験が５年以上の者	
定　　員	各日６名（最少催行人数３名）×２回　※A・B日程の内容は同じです	
開催場所	愛知県森林・林業技術センター、愛知県民の森ほか	
講　　師	株式会社アーバンフォレストリー　吉見次郎　氏	
開 催 日	【A日程】令和８年６月１日（月）・６月２日（火）：２日間 【B日程】令和８年６月３日（水）・６月４日（木）：２日間 内容は同じです	
内容 講義	・伐採作業着手前の準備（伐採木の調査、作業計画の作成、伐倒方向と作業手順の検討）について ・枯損木の状態診断のポイント ・枯損木・かかり木処理に必要な力学の知識 ・伐採作業の禁忌事項について	
内容 実技	・チェーンソーの整備・点検 ・枯損木の伐倒実習 ・かかり木処理実習	
教　　材	講師作成のテキスト	
備　　考		


座学にて樹木の特質を復習

道具のメンテナンスも確認

受け口でも枯損状況を確認

かかり木を作り、

現場に応じ、最も安全で確実な方法で外す